

寄贈図書リスト

理科年表読本太陽系ガイドブック  
 寺門和夫, B6判, 95 p, 2,000円, 丸善株式会社, 解説書  
 人工衛星  
 宇宙科学研究所, 25分, 3,400円, 宇宙科学振興会, ビデオ  
 天文学講話  
 古在由秀, 新書版, 236 p, 720円, 丸善ライブラリー, 読み物  
 カール・セーガン科学と悪霊を語る  
 青木 薫訳, A5判, 438 p, 2,300円, 新潮社, 読み物  
 Modern Stellar Astrophysics  
 Dale A.O., Bradley W.C., A5判, 752 p, Addison-Wesley P C, 教科書  
 Modern Astrophysics  
 Bradley W.C., Dale A.O., A5判, 1325 p, Addison-Wesley P C, 教科書

The Planetary System  
 David M., Tobias O., A5判, 570 p, Addison-Wesley P C, 教科書  
 The Physics of The Interstellar Medium  
 J E Dyson, D A Williams B and P, 165 p, £19.00, Institute of P.P, 専門書  
 第3回天体スペクトル研究会  
 天体スペクトル研究会実行委員会, A4判, 97 p, 無料, 大阪市立科学館兵庫県西はりま天文台, 研究資料  
 宇宙飛行士が答えた500の質問  
 金子 浩訳, B6判, 444 p, 1500円, 三田出版, 読み物  
 何が宇宙をつくっているか  
 土井恒成, A5判, 133 p, 1700円, 丸善株式会社, 読み物  
 Particle Astrophysics  
 H V Klapdor-Kleingrothaus, K. Zuber A5判, 507 p, £100, Institute of P.P B and P, 教科書

月報だより

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

すばる望遠鏡 観測システムアシスタント (技術者)

1. 観測システムアシスタント 2名
  - a) 制御・計算機システム担当 1名
  - b) 望遠鏡システム担当 1名
2. (1) 国立天文台 ハワイ観測所 (RCUH 雇用)  
 (2) 米国ハワイ州ヒロ市 国立天文台 ハワイ観測所 (マウナケア山頂での夜間勤務を含む)
3. 天文工学・計算機・望遠鏡システム  
 国立天文台ハワイ観測所ではすばる望遠鏡システムの総合的な運転開始に向けて各種制御ソフトウェアの導入・調整と運用システム全体の調整が進んでいま

す。観測システムアシスタントは、ソフトウェア・ハードウェアのそれぞれの面を中心にすばる望遠鏡のシステム立上げとオペレーションを担当し、2000年からの共同利用観測では、観測運用チームの一員となって山頂での夜間勤務を含む日常の観測業務を行います。2000年までの望遠鏡立ち上げ期では以下のような職務が主となります。a)は観測・制御等ソフトウェアの調整に携わり、GUI上でのオペレーション、ネットワークの監視、計算機稼動状況の監視、観測装置制御計算機の導入補助、各種計算機のハードウェア・ソフトウェアの保守作業等を遂行します。b)は望遠鏡の機械・電気部分を中心にすばる望遠鏡システムの運用及び全体の総合的な調整に関わり、観測装置の山頂での調整の補助、鏡蒸着作業の補助、各種保守作業の補助等を行います。いずれの職でも、個人の特性に応じた分野での活動に意欲を持つ人、また英語習得に意欲のある人が求められます。

5. (1) 決定後、できるだけ早い時期
6. 短大卒/専門学校卒同等以上の人  
 米国での就労資格を有する、または就労資格取得可能な人
8. 1997年12月31日
9. (2) 日本側の問い合わせ先：国立天文台 林 正彦  
 Tel 0422-34-3611 Fax 0422-34-3608  
 ただし応募書類は英文にて下記の項目 (application requirements) に留意して作成し、下線部の宛先に送付、

1997年12月31日必着のこと。その他の詳細については、上記9(2)に問い合わせ下さい。

**RCUH/NAOJ Subaru Telescope Project**

- a) Observation System Assistant ( Control System )
- b) Observation System Assistant ( Telescope System )

Application Requirements : Send cover letter (note above job title) with narrative on your qualifications for the position, resume with salary history, the names and phone numbers of three work related references and copy(ies) of diploma(s) and/or certificate(s) used to qualify for position, to the Director of Human Resources, Research Corporation of the University of Hawaii, 2530 Dole Street, Sakamaki Hall, D-100 Honolulu, HI 96822.

Complete applications and all letters of reference should be received by 31 December 1997.

**平成10年度国立天文台外国人客員教授候補者の推薦について(第2回)**

下記により平成10年度国立天文台外国人客員教授候補者を募集しますので、ご推薦願います。

- 1. 国立天文台所属の受入れ責任者を通じての応募に限ります。
- 2. 公募人員は、2名です。
- 3. 推薦される候補者がある場合は、受入れ責任者にご相談の上、所定の申請書を作成し、関連資料(略歴等・論文リスト等)を添えて、12月19日(金)までに管理部庶務課共同利用係あてご提出下さい。申請書書式その他については、共同利用係にお問い合わせ下さい。 TEL. 0422-34-3660  
国立天文台長 小平桂一

**人事公募結果**

- 1. 掲載号
- 2. 結果(前所属)
- 3. 着任時期

**宇宙科学研究所**

- 1. 第90巻4号
- 2. 村上 浩
- 3. 1997年7月1日

**研究助成**

**天文学振興財団1998年度研究助成公募**

当財団では、国立天文台の事業支援等を通じて天文学

の振興を図っております。当財団の1997年度の研究助成は、菅井 肇(京都大学)及び田中尚樹(早稲田大学)の2氏2件に対して計200万円を交付しました。1998年度の研究助成希望者等を下記の要項で公募します。

1997年11月1日

天文学振興財団 理事長 古在由秀

**1. 公募種目**

**(1) 研究助成**

- a. 対象：天文学に関する優れた研究活動を行おうとする個人又は団体の代表者、原則として35歳以下
- b. 助成：総額200万円とし、助成件数は1~2件程度

**(2) 国際交流に対する助成**

- a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動(1カ月以内)に平成10年4月以降参加する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部(実績平均1件当たり17万円程度)とし、助成件数は数件程度

**(3) 国際研究集会参加に対する助成**

- a. 対象：平成10年4月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会(10日以内)に参加、発表する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部(実績平均1件当たり15万円程度)とし、助成件数は数件程度

- 2. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否については、平成10年3月頃に決定予定
- 3. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、帰国後1カ月以内に報告書を提出していただきます。

- 4. 申請：申請書は事務局あてに請求して下さい。申請書の提出締切は平成10年1月14日必着

- 5. 問い合わせ先：天文学振興財団事務局  
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内  
TEL: 0422-34-3659  
FAX: 0422-34-3690

**研究会・集会案内**

**第二回微粒子プラズマの物理学の国際会議(ICPDP-99)のご案内**

微粒子プラズマ(Dusty Plasmas)に関して表記の国際会議“The Second International Conference on the Physics of Dusty Plasmas”を日本において開催いたします。第一回の会議は1996年9月にインドのゴアにおいて行われま

した。この会議はカリフォルニアにおいて行われた第6回のワークショップを発展させたものです。この会議では、宇宙空間の塵・惑星のリングの挙動や実験室における微粒子が関与するプラズマ現象について広く発表・討論を行います。

会議の要約は以下の通りです。関心のある方の積極的な参加を希望します。

1. 開催日：1999年5月24日～5月28日
2. 開催会場：箱根 小湧園
3. 予備申込：1997年11月30日まで  
この記事が掲載される時点で間近ですが横田までお問い合わせください。
4. 組織委員：Y. Nakamura (Chairman), T. Kawabe, Y. Kawai, K. -I. Oyama, P. K. Shukula (Chairman), T. Yokota (Scientific Secretary)
5. 問い合わせ・申込み先：  
〒790-77 松山市文京町3 共通教育棟  
愛媛大学・理学部・物質理学科 横田俊昭  
Tel: 089-927-9605 (ダイヤルイン)  
Fax: 089-927-9606 (ダイレクトイン)  
E-Mail: yokota@gserv.g.ehime-u.ac.jp

6. 申込み方法：  
ご連絡を頂いた方には、E-Mail版、または、印刷のフォーマットを送りますので、それによって申し込んでください。

## 研究情報案内

### 「23回国際天文学会連合総会記念CD-ROM —日本の天文学の成果—」完成のお礼と頒布のお知らせ

第23回国際天文学連合総会組織委員会広報委員  
渡部 潤一

すでにご存じのように、第23回国際天文学会連合総会は、予想を遥かに超える約2000名の参加のもと、無事、成功裡に終えることができました。本総会組織委員会では躍進しつつある日本の天文学の現状や最新の成果、日本の天文学に関連する歴史的な資料などを広く世界に紹介するための記念CD-ROMの製作を企画し、天文月報やTENNET等で呼びかけましたところ、多くの皆様から、編集者が悲鳴をあげるほどの広範な画像や資料をご提供いただきました。おかげで充実した内容にすることができ、とくに海外の参加者から絶賛を得ています。ご協力いただきました皆様に、この場を借りて、厚くお礼を申し上げます。なお、個々の提供者の方々へは、すでに完成したCD-ROMとともに御礼状を発送済みですが、こちらの手違いで万が一、画像・資料を提供しているのにもらっていないという方がおられました

ら、ご連絡下さるようお願い致します。こちらより至急郵送させていただきます。また、本CD-ROMへの画像・資料などのご提供がなく、かつ総会へ参加されていない方々への頒布方法も決定致しました。一部2,500円(税・送料別)で、編集製作を委託した株式会社アストロアーツ社に販売も委託しております。販売収入は総会会計に繰り入れる予定ですが、本CD-ROM製作費用補填に充当される予定です。部数は残り少なくなっていますが、ご希望の方がございましたら、直接お問い合わせ頂ければ幸いです。

(フリーダイヤル0120-299792、詳しくは国立天文台ホームページ<http://www.nao.ac.jp/pio/iau97/cd.html>を御覧下さい)

## 会務案内

### 会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は1998年度より定款改訂に伴い会計年度が1月～12月となりましたので1998年1月10日から3月31日までの間に1998年度会費を納入して下さい。1998年より年会費納入時に、春・秋季年会予稿集の予約ができるようになりました。それにともない年会費(+予稿集)の支払いが以下のよう

- A1.正会員(一般・予稿集あり) ……22,000円/年
- A2.正会員(一般・予稿集なし) ……18,000円/年
- B1.正会員(学生・予稿集あり) ……17,000円/年
- B2.正会員(学生・予稿集なし) ……13,000円/年
- C1.準会員(予稿集あり) ……12,000円/年
- C2.準会員(予稿集なし) ……8,000円/年

※予稿集予約の葉書を出していない方は、A2、B2、C2の金額をご送金下さい。学生の方は郵便振替ご利用の際は通信欄に、所属大学、学年等、学生である旨を明示して下さい。銀行振込の際は別途郵便、E-Mail、FAX等でお知らせ下さい。(天文月報奥付に記載してあります)

◎銀行口座引き落とし登録の方は、1月10日にご指定口座より引き落とします。

◎今月号に振替用紙を同封していますのでご利用下さい。銀行振込をご利用の方は  
**東京三菱銀行三鷹支店 普通 4434400 社団法人日本天文学会**へご送金下さい。

◆会員の方々の管理は会員番号によっておりますので会員番号を必ず明記して下さい。

◆予稿集予約を申し込まない方で予稿集を購入ご希望の方は、年会関連記事本号606頁をご参照下さい。

## 日本天文学会 1997年秋季年会報告

1997年秋季年会は9月29日(月)～10月1日(水)の3日間、宇都宮大学の講義室の5会場を使って開催された。口頭(10分)、口頭(3分)+ポスター、による発表講演数はそれぞれ218, 125件、ポストデッドライン講演は1件であった。今回の年会参加者は523名と盛況で、田原氏を中心とする宇都宮大学の方々の努力で順調に行われた。各会場の座長は次の方々をお願いした。

会場	A	B	C	D	E
9月29日 9:00-12:00 13:00-15:00	磯部琇三 渡部潤一	小高康史 松元亮治	仲野 誠 平野尚美	中井直正 泉浦秀行	林 左絵子 大師堂経明
9月30日 9:00-11:00 13:00-15:00	柴崎清登 黒河宏企	福江 純 蜂巣 泉	関谷 実 花輪知幸	千葉征司 牧野淳一郎	羽部朝男 山岡 均
10月1日 9:00-11:00 13:00-16:00	坂尾太郎 坂尾太郎	尾中 敬 三原建弘	長谷川哲夫 和田節子	梅村雅之 青木賢太郎	森川雅博 杉山 直

### 〈記者会見〉

秋季年会の前日午前11時から、宇都宮大学で記者会見を行い、次の点について解説した。

#### ★トピックス

- 1) 世界で初めて上がったスペース VLBI (電波干渉計) “はるか” の最新情報  
平林 久 (宇宙科学研究所・教授)

【関連講演: W01a, W02a, W03a, W04a】

- 2) 原始星 (L1551-IRS5) のまわりの収縮するガス円盤—惑星形成の母体となる円盤ができる様子をとらえた—  
百瀬宗武 (総合研究大学院大学院生),  
川辺良平 (国立天文台・助教授) 他

【関連講演: P09a】

- 3) 活躍する公共天文台  
—市民に開かれた専門施設をめざして—  
黒田武彦 (兵庫県立西はりま天文台・天文台長)  
【関連講演: V21b, V22b, V23b, 天文教育フォーラム】  
(年会実行委員長: 加藤万里子)

### 〈通常総会〉

平成9年秋季年会における通常総会は、2日目午後4時より開催された。新定款によるきびしい定足数がクリアできるかどうか危ぶまれたが、事前における多くの正会員の葉書投票のおかげで、定足数は無事満たされた(詳しい数字は後述の総会報告を参照)。議事に先だって、この出席数の確認と、署名人の選出が行なわれ、続いて、第1議案(平成8年度収支決算書)と第2議案(平成10年度事業計画案と収支予算案)の承認が、若干の質

疑応答ののちなされた。ついでIAU総会の報告があり、さらに、IAU総会開会式における天皇皇后両陛下の招待に関わる評議員会と理事長(当時)の対応について、活発な議論が行なわれた。総会への出席正会員数はのべ162名(葉書投票と委任状を含めた有効出席者数は最終的に445名)であった。

### 〈懇親会〉

2日目午後6時から、宇都宮大学の学生会館生協食堂を利用して行なわれ、約150名の参加者があった。(株)五島プラネタリウム、(株)エイ・イー・エスからのご芳志もあり、大変盛り上がった。  
(庶務理事: 柴田一成)

### 〈天文教育フォーラム〉

1日目午後4時から5時40分まで、天文教育普及研究会との共催による天文教育フォーラム『21世紀の公共天文台』が開催された。会場がほぼ満席の100名以上の出席があり、黒田武彦氏、鈴木文二氏、青木賢太郎氏の報告のあと、多くの現状報告、意見交換が行われた。

### 〈公開講演会〉

9月28日(日)午後2時から5時まで、宇都宮大学 学生会館多目的ホールで行なわれた。講師および演題は「宇宙はこうして始まった」佐藤勝彦(東京大学教授)「銀河モンスターにいどむー『はるか』は何を見るか—」井上 允(国立天文台教授)であった。宇都宮大学の田原博人氏の多大な努力の結果、聴講者は250名を越え、立ち見席が出るほどの盛況となった。佐藤氏の講演では、宇宙開闢から現在までの宇宙の進化の様子がわかりやすく解説された。井上氏の講演では、電波干渉系の仕組みについて話された後、電波天文衛星「はるか」の最新の成果について解説された。それぞれの講演について、小・中学生を始め多くの聴講者から質問が相次ぎ、活発な質疑応答が行われた。

なお、聴講者にアンケート調査を行った結果、158名から回答があった。回答者の内訳は小学生5名、中学生21名、高校生17名、大学生23名、その他68名、不明24名であった。講演会の情報を何から得たかについては、新聞を見て(34%; 前日の下野新聞が記事を掲載)、学校の先生から(27%; 市内の小・中・高校にパンフレットを配布)、個人あてのパンフレット(12%; 田原氏が卒業生、大学の公開講座の聴講者にパンフレットを郵送)、知人などからの口コミ(11%), ポスターを見て(8%), 大学の授業による紹介(8%)の順であった。公開講演会の宣伝に関する貴重な結果である。

(教育理事: 沢 武文)

### 〈保育室〉

保育室はポスター会場のある学生会館内に設置され、3日間でのべ8人の子供の利用があった。シッターさん

は、春の年会と同じく、ファミリーサポートに依頼した。たたみの部屋なので設営も楽で、子供たちも遊びや昼寝がのびのびできた。利用者からは、『保育室があって本当に助かった』『心のこもった保育で安心して預けることができた』との声が聞かれた。宇都宮大学教育学部の研究室からは電子レンジや冷蔵庫、ビデオなどをお借りし、搬入などでお世話になった。保育室設置に関する情報は、天文学会のホームページで公開している。

(年会実行委員長：加藤万里子)

## 1997年(平成9年)秋季年会通常総会報告

秋季年会における通常総会は、9月30日(火)16時より開催された。

議長：理事長 奥田治之

総会次第

1. 開会
  2. 出席数確認
  3. 署名人選出
  4. 第1議案 平成8年度収支決算書の承認  
[資料1 天文月報 1997年7月号 339-340ページ]
  5. 第2議案 平成10年度事業計画案の承認  
[資料2 天文月報 1997年9月号 459-460ページ]  
平成10年度収支予算案の承認  
[資料3 天文月報 1997年9月号 460-461ページ]
  6. 諸報告
  7. 第23回IAU総会(京都)について
  8. その他
  9. 閉会
- 議事に先立ち出席数の確認がなされた。この時点での、有効出席者数は393名(うち、正会員出席者数110名、委任状23名、葉書投票260名)であり、総会成立のための定足数である正会員総数(平成9年9月現在で、1320名)の5分の1(264名)以上を満たしていることが確認された。
  - 署名人として桜井 隆氏、田中 済氏が選出された。
  - 平成8年度収支決算書(第1議案)が報告され、質疑応答ののち賛否を問い、賛成多数で承認された。  
出席者数=110、委任状=23、葉書投票=260、有効出席者数=出席者+委任状+葉書投票=393  
賛成=98、保留=12、委任状による賛成=23、投票による賛成=253、投票による反対=1、白票=6  
計 賛成=374
  - 平成10年度事業計画書案および収支予算書案について報告され、質疑応答ののち賛否を問い、賛成多数で承認された。  
出席者数=162、委任状=23、葉書投票=260、有効出席者数=445  
賛成=151、保留=12(うち委任状による保留1)、

委任状による賛成=22、

投票による賛成=254、投票による反対=1、白票=5  
計 賛成=427

- 奥田理事長より平成8年度の研究奨励賞が該当者なしになった旨の報告があった。
- 福島IAU担当理事より、8月に開催されたIAU総会についての詳細な報告があった。続いて、IAU総会開会式における天皇后両陛下の招待に関わる評議員会と理事長(当時)の対応について議論があった。
- 奥田理事長より一般公開講演会が大変盛況に行なわれた旨、および、記者会見について報告があった。

(文責 庶務理事：柴田一成)

## 日本天文学会 1998年春季年会の開催と講演の申し込みについて

春季年会は1998年3月16日(月)から18日(水)までの3日間、東京都立大学にて開催します。

### 【講演の申し込み】

講演の申し込みは「〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、1月8日(木)までに必着するよう規定の申込用紙(本号にはさみ込み)を用いてお送りください。

e-mailでの投稿受付は、1月5日(月)正午~1月9日(金)正午までとします。非会員の方からのe-mailでの予稿も受け付けます。e-mailでの予稿の書き方、送り方およびフォーマットはtennetを通して連絡します。tennetから直接情報を入手できない方はtennet加入者にお聞きください。さらに、WWWにも掲載します。直接学会事務局へのお問い合わせにはお答えできません。郵送とe-mailとの二重の申し込みは固くお断りします。さらにプログラムをWWW上に掲載します。e-mail投稿による予稿本体も、プログラムと同様にWWW上に掲載しますので、支障のある方は前もってお申し出下さい。

講演は「口頭発表(講演10分)」、及び「口頭発表(3分)+ポスター発表」にて行いますので、希望の発表形態を選択して下さい。口頭発表(3分)の質疑応答は数講演を一括して時間を設けて行います。また、筆頭講演者の複数講演が可能です。ただし、2つ目以降の講演は「口頭」発表(3分)+ポスター発表とします。

Post-deadline papersも受け付けます。これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circularに掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、3月11日(水)まで受け付けます。講演方法はポスター発表となります。

講演分野の分類は以下の15通りです。

J.位置天文学, K.天体力学, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P.星形成, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V.地上観測機器, W.飛翔体観測機器, X.情報処理, Y.天文教育・その他

なお申し込みの分野の分類に続けて、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードをご記入ください(例:恒星(内部振動))。

講演申し込み・発表に際しては特に次の事項を厳守してください。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 連名の場合、発表者を講演著者の筆頭におく。
3. 口頭発表においては、オーバーヘッドプロジェクターを使用すること。
4. ビデオプロジェクターの使用(10分講演のみ可能)を希望される方は年会申し込み用紙に○印をつけて下さい。
5. スライドの使用は原則として考えていませんが、どうしてもという方は、年会実行委員長(加藤万里子)まで前もって連絡してください。
6. 郵送による申し込みの際、原稿をセロテープ、メンディングテープなどで張りつけることはせずに、必ず糊をお使いください。

なお、近年、講演のキャンセルが増えています。理由のいかんにかかわらず、これ以上キャンセルが増えると、年会の運営に支障をきたしますので、慎重にお申し込み下さい。年会は、主として会員の研究発表や情報交換等を通じて天文学の発展に寄与するものです。非会員の方で講演を希望される方には、申し込みの際に入会をお薦めしております。

**【年会出席旅費補助】**

講演申し込み者で年会出席旅費の補助を希望される会員は、1月30日(金)までに必着するよう日本天文学会に申し込んで下さい。ただし申し込みのできる人は、1998年度会費納入済みの方で、連名の場合でも筆頭講演者であり、正式の給与を受けていない正会員学生会費納入者に限ります。尚、旅費は年会会場にてお渡し致しますので印鑑をご持参下さい。年会終了後にはお渡しできません。

**【参加費等の支払い方法】**

講演の申し込みには講演登録料が必要です。ただし、

会員の種別によらず、1講演につき講演登録料が免除となります。

年会参加費	3,000円(正会員(学生)は2,000円)
年会講演登録料	3,000円
年会予稿集	2,000円

- 1) 年会参加費及び年会講演登録料は年会会場でお支払いください。
  - 2) 年会講演登録料は、講演を複数回申し込まれた方の、2講演目からの1講演あたりの金額です。
  - 3) 予稿集については、予稿集予約の葉書を学会へお送り頂いた方は、1998年度分会費に、春、秋の予稿集代金4,000円を加算してご送金下さい。  
(予稿集つき会費納入の具体的方法については、本誌603ページを参照下さい。)
- 上記以外の方で、予稿集を購入希望の方は、会員番号と1998年春季予稿集希望と明記の上、下記へご送金下さい。代金は1冊2,000円(含消費税、送料)です。郵便振替は

00160-1-13595  
社団法人 日本天文学会

尚、口座引き落としの手続きをしている方で、予稿集をご希望の方は、12月10日までにお申し込み下さい。この場合予稿集予約の葉書をお送り頂いている方は不要です。口座の引き落としは、1月10日に行ないます。

**【お問い合わせ】**

年会中に集会のため会議室の利用を希望される方は、前もって東京都立大学 大橋隆哉までご連絡下さい。

メールアドレス: ohashi@phys.metro-u.ac.jp  
電話番号: 0426-77-2492  
ファックス: 0426-77-2483

**【天文学会会期中の保育室設置のお知らせ】**

春季年会でも、会場内に保育室を設置する予定です。詳しい内容と申し込み手続きは、天文学会のWWWホームページ(<http://www.tenmon.or.jp/meeting/>)に掲示します。WWWがアクセスできない方は、実行委員長の加藤万里子まで、電子メール(mariko@educ.cc.keio.ac.jp)かFAX(045-563-1650 加藤万里子あてと明記のこと)で、ご連絡ください。

(年会実行委員長 加藤万里子)

編集委員	末松芳法(編集長), 上野宗孝, 大橋正健, 小谷太郎, 辻本拓司, 野口邦男, 平野尚美, 宮坂正大
平成9年11月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
定価700円(本体667円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
電話(0422)31-1359(事務室)5488	(月報・欧文編集)5487(FAX専用) 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のホームページ	<a href="http://www.tenmon.or.jp">http://www.tenmon.or.jp</a> 月報編集 e-mail: gjjimu@tenmon.or.jp